コロナ・パンデミックから日常は戻ったか　同じ日、同じ場所を訪ねて　2025年・2020年　／大阪

4/23 毎日新聞

2020年3月11日、世界保健機関（WHO）が新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）を宣言した。日本では4月7日に緊急事態宣言が初めて発令され、日常は一変した。あれから5年。同じ日に同じ場所を訪れた。

人けのない道頓堀＝大阪市中央区で2020年4月2日、久保玲撮影

観光客でにぎわう道頓堀＝大阪市中央区で2025年4月2日、久保玲撮影

当時、観光地を中心に人通りが途絶える中で行列ができていたのがドラッグストアだった。マスクを買うため開店前から大勢の人たちが並んでいた。今、行き交う人たちの姿にマスクはほとんど見られない。WHO は 23 年 5 月 5 日、緊急事態宣言の終了を発表。日本では 3 日後の 8 日に感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ 5 類に移行された。日常は戻ったように思える。

マスクを買うため開店前のドラッグストアに並ぶ人たち＝大阪市中央区で2020年4月4日、久保玲撮影

人通りの少ない開店前のドラッグストア周辺＝大阪市中央区で2025年4月4日、久保玲撮影

人通りの少ないJR大阪駅前＝大阪市北区で2020年3月28日、久保玲撮影

大勢の人が行き交うJR大阪駅前＝大阪市北区で2025年3月28日、久保玲撮影

5年前の4月、緊急事態宣言の最中にイタリアの作家、パオロ・ジョルダーノさんのエッセー「コロナの時代の僕ら」（飯田亮介訳、早川書房）が緊急出版され話題になった。「コロナウイルスが過ぎたあとも、僕が忘れたくないこと」と題されたあとがきにはこのような一節がある。「すべてが終わった時、本当に僕たちは以前とまったく同じ世界を再現したいのだろうか」【写真・文　久保玲】

人けのない新世界＝大阪市浪速区で2020年3月29日、久保玲撮影

観光客でにぎわう新世界＝大阪市浪速区で2025年3月29日、久保玲撮影